

「住みたい、住み続けたい、関わりたい」と思えるまちへ

皆さんが「主役」の広報活動が評価！

市では、皆さんそれぞれが大切に「ヒト・モノ・コト」、それ自体を魅力として捉え、皆さんと一緒に「シティプロモーション事業」や「広報ほんじょう」をとおして発信してきました。

今回の受賞は、まさに本庄に住み・関わる皆さんが「主役」の広報活動が評価されたものです。



シティプロモーション事業のこれまで

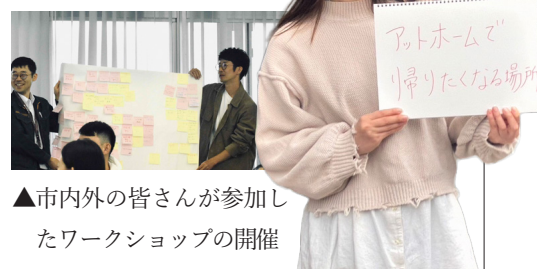
全国的な人口減少下において、移住者を増やすだけでなく、本市に暮らし関わる皆さんにとって「住みたい、住み続けたい、関わりたい」まちであるため、令和5年度から6年度の2年間にわたり、市内外の皆さんの参加により、本市の「ブランドメッセージやロゴマーク」の策定、PRイベント「ほんじょう市」の開催等を行いました。

これらの事業を通じて、本市の魅力を再発見し、市内外に誇れる本市の魅力や将来にわたって残したい魅力など、本市のシティプロモーションのめざす方向性を整理することができました。

▼ブランドメッセージ決定投票の実施



▲「ほんじょう市」開催



▲市内外の皆さんが参加したワークショップの開催



▲より多くの方に焦点をあてた紙面づくりを行っています。

なく、まちに住み・関わる人がそれぞれ大切に「ヒト・モノ・コト」こそが「魅力」であると捉え、広報担当がまちに出て、皆さんと関わりながら、より多くの方に焦点をあてた紙面を作ることを心がけてきました。



広報ほんじょうのこれまで

広報ほんじょうは、市民の皆さんにとって「より読まれてより伝わる広報紙」を目指し、企画から取材・編集まで一貫して広報担当が行いながら毎月発行をしています。

そうした中で、行政情報をお伝えするだけで

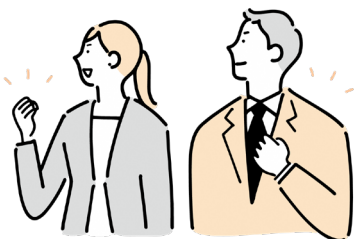


▲魅力的な人の「活動」に焦点をあてた「Touch」

今後も皆さんとともに、広報活動を行っていきます！

今回の受賞をとおして、「市にはこんな取組がある。さまざまな事業に関わる魅力的な人びとがいるまち」であることを、全国に知ってもらふ機会となり、目にした方がたから、話を聞きたい、本市を訪れたいという声が届いています。

引き続き、持続可能な活気あるまちであり続けるために、広報活動をとおして市の魅力である皆さんの想いや活動を発信していきます。



市の広報活動が全国1位！

地方自治体等の優れた広報活動を表彰する全国広報コンクールにおいて、都道府県の審査・推薦を通過した自治体等作品 448 点から、審査結果が発表されました。

結果、広報企画部門に提出した「本庄市シティプロモーション事業」が、令和7年全国広報コンクールの『内閣総理大臣賞（総合1位）』を、また、広報写真組み写真部門に提出した「広報ほんじょう」が、『総務大臣賞（部門 全国1位）』を受賞しました。

詳しくはこちら



シティプロモーション事業

全国広報コンクール 広報企画部門・特選（部門 全国1位）
内閣総理大臣賞（総合1位）



企画意図

市外からの移住者だけでなく、本市に暮らし、関わる皆さんにとっての市の魅力を再発見することで、活気あるまちであり続けることにつながると考え、本市のシティプロモーション事業を実施しました。

審査員講評

シティプロモーションを市外からの認知獲得として捉えるにとどめず、地域の力、関与意欲を高める取り組みは重要であり、多くの自治体にとって参考となるだろう。

広報ほんじょう

全国広報コンクール 組み写真部門・総務大臣賞（部門 全国1位）



企画意図

本庄市では、夏の恒例行事となっている祭り。当日の雨を吹き飛ばすほどの熱気と盛り上がりにも包まれる参加者の「躍動」を2ページにわたり表現したものです。

審査員講評

見開き紙面いっぱいに現場の熱量が伝わってくるダイナミックな作品。エネルギー溢れる人びとの歓声や熱量が紙面から押し寄せ一目で魅了されてしまった。